

# みよし手づくりプロジェクト便り

## 第1回みよし手づくりプロジェクト いよいよスタート!

8月10日(火)「みよし手づくりプロジェクト」が開催されました。

この会議は、三芳地区の現状とこれからの姿を考え、協働によるまちづくりを進めていく、地域づくり協議会の組織の設立に向けた話し合いの場です。

発起人の呼びかけに31名の賛同者があり、当日23名の方が参集して、石井市長のご挨拶、千葉工大鎌田教授による協働のまちづくりの講話に続き、4つのグループに分かれ、自分達の地域を良くするための意見や知恵を出し合い、三芳の課題や宝を熱く語り合いました。



発起人田村栄さん



石井市長

## まちづくりの一番大きな力は「市民力」

石井市長の挨拶から

「市民力とは、市民の皆さんだけの力ということではなく、行政職員も市民のひとりとして、市民の皆さんと一緒に、その力を高めていくことが、大事だと感じています。行政は、傍観者という訳ではなく、皆さんと一緒に考え行動していきます。

南房総市の様々な行財政改革が進み、様々な事が変わる節目にきている中で、改めて三芳地区の良さや課題について、忌憚なく、色々な意見を出していただき、それを1つの方向にまとめていただけるように、皆さんにお願い申し上げます。」



千葉工業大学 鎌田教授  
経歴

千葉県NPO活動推進委員会などで活躍され、南房総市の市民提案型まちづくりチャレンジ事業の審査委員長や、地域づくり協議会設立にもご協力いただいています。専門は、都市計画、建築計画、農村計画で、市民によるまちづくりに関心をもって研究されています。

「協働には喜びや感動があります」

## 協働とはなんですか？

鎌田教授のお話から

「協働によるまちづくり」とは、日本だけではなく、世界のひとつの方向です。

これからは、行財政改革により、行政職員も手薄になる中で、市民からの多様なニーズに応える為には、地域の人材が関わっていかなくてはなりません。

そのために、日本全体の地方の課題は、自分でできる事は自分で(自助)、自分ひとりで、できないことは地域が(共助)、それでもできないことは行政が補う(公助)。この中で共助を拡大していくことが重要であり、全国あげての知恵比べとなります。

協働について、いくら行政が良い事があると言っても、市民の皆さんからは「自分にどんなメリットがあるの?」という思いがあることでしょう。協働には、参加することにより、「人に喜んでもらえる」、「地域がどんどん元気になる」というような、言葉では説明できない喜びや感動があります。

三芳地区の皆さんにもきっと芽生えます。

ぜひ、協働の感動を味わっていただけたらと思います。



みよし  
手づくり  
プロジェクト  
会員の皆さん



Aグループの皆さん



Cグループの皆さん



Bグループの皆さん



Dグループの皆さん



## はじめてのワークショップ

鎌田教授のお話を伺った後、4グループに分かれて、いよいよ初めてのワークショップです。  
テーマは、「みよしをトンボの目で見てみよう！～三芳の宝と課題について～」でした。  
慣れない会議の形式に、皆さん初めは戸惑われておりましたが、前向きに真剣に、「人の意見を否定しない」というルールを守って、楽しく参加してくださいました。

各班のまとめは次の通りです。

A班 三芳の一番の宝は、「自慢できる自然」

また、三芳の課題として「農業の後継者不足」が出ました。

B班 一番の宝は、「和気あふれる人々がたくさんいる」

また、公共施設、鄙の里、農業を中心に発展できたら、という意見が出ました。

C班 三芳の一番の宝は、「人情が温かく、地域コミュニティが良く、特に女性同士の交流が温かい」

反面、老人会、青年団、婦人会が減少している課題も出ました。

D班 三芳の一番の課題は、「中年独身者の増加」

また、住民が三芳の良さを認識していないのでは？という意見もあがりました。

以上が今回のワークショップの結果です。

参加者の皆さんのおかげで、発表まで辿りつくことができました。

ありがとうございました。

第2回「みよし手づくりプロジェクト」は、平成22年9月8日（水）です。  
参加者は随時募集しております。お気軽にご連絡をください♪

発行：みよし手づくりプロジェクト

企画編集：三芳地域づくり支援員

〒294-8701

南房総市谷向100番地

三芳支所庁舎1階

TEL 0470-36-4748

FAX 0470-36-2571 (支所)

編集後記

みなさん、はじめまして。三芳地区担当の池田と小汐です。

この便りを通して、地域づくりに向けた活動の様子や、三芳地区が誇れる人・場所・活動を紹介してまいります。

何か紹介してほしいこと、ご意見等がございましたら、左記にお気軽にご連絡ください。